

福島県ふたば医療センター
医療情報システム更新業務
公募型プロポーザル提案書等記入要領

令和6年8月

福島県ふたば医療センター

1 提案書等として提出する資料の種類

本選定に関わる参加表明書等及び提案書等として、留意事項に従い次の資料を提出すること。

(1) 参加表明書等

- ・参加表明書（様式2）
- ・導入実績書（様式3）

(2) 提案書等

- ・「医療情報システム要求機能仕様書」への回答
- ・提案書
- ・付属資料
- ・提案システム構成（様式4、様式5及び様式6）
- ・本事業に係る総括責任者・主任技術者・保守要員の実績（様式7）
- ・見積書（様式8及び様式9）

2 全般的な留意事項

以下の留意事項に注意し、提案すること。

- (1) 本選定においては、参加資格適合者から提出された提案書等及びプレゼンテーションに基づき評価を行い、採点する。
- (2) 「医療情報システム要求機能仕様書」に記載の要件を満たすため、またはふたば医療センターの役割・特性を踏まえ、提案者の費用と責任により部門システム・ハードウェア・作業等を追加提案することを可とする。ただし、追加提案を行う場合には提案価格に含めるものとし、様式8「提案見積内訳書」の空欄に提案内容と費用を記載し、様式9の見積書の金額に含めること。また確実に貴社が実現できる範囲で記載すること。いくつかの方式を挙げた場合には、全て貴社が実現を約束したものとみなす。

3 提案書等作成上の留意事項

(1) 導入実績書（様式3）

- ・今回、提案するベンダーのシステムについて、過去5年間に全国で導入した一般病床300床以内の病院における医療情報システム（電子カルテ・オーダーリングシステム）導入実績を記載し、実績に相違ない旨の記入・捺印をすること。
- ・複数頁にわたる場合は、頁ごとに表の下の特記欄を設け、記入、捺印すること。
- ・調達形態は、買取・賃借と記入すること。その他の場合（クラウドによる利用方式等）の場合は具体的な調達形態を記載すること。
- ・利用されているシステムには、オーダーリングシステム・電子カルテシステム・オーダーリング+電子カルテ等のシステム概要及び具体的なシステム名を記入すること。
- ・資料提出時点で構築中の病院は、備考欄に「構築中」と記載すること。
- ・1部(正本)およびコピー7部(副本)作成し、電子媒体1部を提出すること。

(2) 「医療情報システム要求機能仕様書」への回答

- ・別紙「医療情報システム要求機能仕様書」に記載の各要件に対し、要求する全要件への対応可否を「回答」欄に○・×のいずれかで記入すること。また、特記事項があれば、備考欄に記入すること。

○回答：提案見積価格内で対応可能

×回答：対応不可能

- ・1部(正本)および7部(副本)作成し、電子媒体1部を提出すること。
- ・なお、必須要件については全て満たすこと。×回答があった場合には失格とする。

(3) 提案書

以下の留意事項に注意し、提案書を作成すること。

- ・提案書は別紙1「提案書記載依頼事項」に沿って日本語で表記すること。様式は任意とし、表紙を除いて20枚以内（原則A4サイズの用紙）とすること。
- ・1部(正本)は、社名を表紙に記載した上、社印を押印すること。提出者の担当部門及び責任者を明記すること。
- ・印を押さない提案書のコピーを7部(副本)作成し、電子媒体1部を提出すること。電子媒体には、紙媒体で提出する全てを含めること。電子媒体には提案者名を記載すること。
- ・表題は「福島県ふたば医療センター医療情報システム更新に係る提案書」とすること。
- ・設計開発・保守体制における外部委託にあたっては別途、福島県の承認を要する。他の企業に外部委託を予定している場合は、外部委託予定企業について記載すること。なお、外部委託予定企業を記載したとしても、福島県がこれを承認することを保証するものではない。
- ・貴社の提案が理解しやすいように、簡潔かつ分かりやすい表現で記述すること。

(4) 付属資料

パンフレット等は直接評価の対象とはならないが、提案書を評価するにあたって参考とするので、提案に関わるソフトウェア、ハードウェア等の製品諸元が分かる資料を以下の留意事項に注意して提出すること。

- ・付属資料はファイルに綴じるなど、一体として提出すること。
- ・表紙、目次（付属資料一覧）を添付すること。
- ・表題は「福島県ふたば医療センター医療情報システム更新に係る提案付属資料」とすること。
- ・付属資料1部については、表紙に社印を押印すること。
- ・印を押さない付属資料を別途7部提出すること。
- ・付属資料のうち可能なものは電子データとし、1部提出すること。

(5) 提案見積内訳書（様式8）の記載上の留意事項

以下の留意事項に注意し、提案見積を作成すること。

- ・提案見積内訳書は、様式８に従い作成すること。また、日本円で、消費税抜きで表記すること。
- ・本要領２（２）に記載の追加提案を行った場合、空欄となっている行に提案内容と金額を追記すること。行が不足する場合には追加することも差し支えないが、合計金額に矛盾が生じないように計算式を修正すること。その場合、備考欄にその旨追記すること。
- ・社判を押印した１部（正本）に電子データ１部を添付すること。
- ・提案見積内訳書（様式８）と見積書（様式９）を一緒に提出すること。
- ・提案見積内訳書（様式８）と見積書（様式９）の金額に矛盾を生じないこと。万が一矛盾があった場合は、見積書を優先する。
- ・提案見積において記載ミスがあった場合の判断は福島県が行うものとする。例えば、ハードウェア／基本ソフトウェア等の記載漏れがあった場合にも、見積金額の中で福島県ふたば医療センター医療情報システムに必要なハードウェア／ソフトウェアを調達できるものとして提案したものとする。

（別紙１）「提案書記載依頼事項」

提案書および提案概要書には、下記に示す事項を必ず記載すること。

	提案内容	提案書への記載事項
1	取り組み方針と提案システムの概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 福島県ふたば医療センターの役割・特性・人員体制を踏まえたうえで、提案コンセプト・アピールポイントを記載してください。 ✓ システム構築方法（クラウド・オンプレミス）の提案理由を記載してください。
2	業務実績、業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ご提案の導入実績書（様式3）、本事業に係る総括責任者・主任技術者・保守要員の実績（様式7）について、特徴・アピールポイントを記載してください。 ✓ 業務実施体制については、体制図（様式任意）を添付してください。 ✓ 貴社システムを導入した病院からの評価を客観的に確認できる資料があればご提示ください。
3	稼働までのスケジュールと業務方法	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 稼働までの詳細なスケジュールを記載してください。 ✓ 福島県ふたば医療センターの特性を考慮したうえで、操作研修やリハーサル等の実施方法などスケジュールの各段階における具体的な業務方法および貴社と病院の役割分担を具体的に記載してください。 ✓ 次期システムへの切替時の想定スケジュールを記載してください。システム稼働が制限される期間を短縮する方法などスムーズな切り替えのための工夫があればあわせて記載してください。 ✓ 稼働までの準備期間における諸室貸与など、病院への要望について必要要件を含めて具体的に記載してください。
4	稼働後のサポートおよび保守・メンテナンス体制	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 稼働後のサポートおよび保守（ソフト・ハード・マスタ等）の方法について記載してください。 ✓ ソフトのバージョンアップ及び診療報酬改定時や法改正時の考え方及び費用発生の考え方についても記載してください。 ✓ 保守・メンテナンス体制については、体制図（様式任意）を添付してください。
5	セキュリティ対策やシステム障害・災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」に関する取り組み、考え方について記載してください。（特に、二要素認証について、対応方針や提案見積価格に含まれない追加コストの見込みなどを記載すること。） ✓ システム障害が発生した場合の対応（平日日中、夜間、土日祝日のそれぞれ）について、想定されるソフトウェア及びハードウェアの障害とそれぞれの障害への対応を記載してください。 ✓ 大規模災害に備えた貴社の対応とシステム提案について記載してください。

	提案内容	提案書への記載事項
6	最適な運用を実現する、使いやすいシステム提案	✓ 福島県ふたば医療センターの役割・特性・人員体制を踏まえたうえで、最適な運用を実現するシステム提案や使いやすいシステム提案について記載してください。（24時間365日の救急医療提供、福島県立医科大学からの非常勤医師が多いこと等を踏まえた提案など）
7	データ移行の実施方針	✓ データ移行範囲や移行計画（手順や作業期間など）の考え方について記載してください。